

洗たくおよびクリーニングに関する研究(第1報)

笹山 益子 樋口 英子
島崎 千江子 葉山 恵美

I はじめに

最近、衣料品は、つぎつぎに開発される新加工の素材によるものや、取り扱い方法の異なる素材を組み合わせたものなど、デザイナーの感性を重視して作られたファッション衣料が多くなってきた。

したがって、これらの衣料品を取り扱う(洗たくなど)際に問題が生じやすい。

そこで、本調査では、まず洗たくの現況を把握し、クリーニングミス进行研究の第一歩として、洗たく全般についての調査と解析を試みる。

II 調査概要

1. 時期 1988年6月～7月
2. 対象 女子短期大学服飾学科学生の家庭における洗たく従事者
3. 方法 配票調査法
4. 有効数 300名
5. 集計に関する事項 京都大学大型計算機センターにおいて、度数分布、クロス分析による χ^2 検定を行った。

III 結果および考察

1. グループ分け (Q1)

本学学生の家庭における洗たく従事者は母親(主婦)、姉妹、学生本人などであるが、職業や時間の有無により洗たくに対する意識が異なると考えられる。そこで、主婦は①専業主婦、②内職、③パートタイム、④フルタイム常勤と分け、学生を⑤自宅通学、⑥下宿と分類した。その結果を表1に示す。

主婦層では専業主婦が57.0%と半数以上を占めており、内職2.0%、パートタイム15.3%、フルタイム常勤17.0%と、何等かの職業を持っている人は34.3%となっている。

学生本人が洗たくをしているのは、自宅通学、下宿を含めて8.7%であった。

尚「グループ分け」と「衣類の取り扱いの失敗の有無」、「グループ分け」と「クリーニング事故の有無」をクロス集計したが、本調査では積極的な関連性を認めることはできなかった。

2. 年齢 (Q2)

被験者が主に本学学生の母親であるため、表2-1に示すように40歳代が72.3%と最も多く、次いで50歳代が16.0%、60歳以上が1.7%、30歳代が1.0%の順であった。

さらに先のグループ分けと年齢をクロス集計した結果、表2-2のように40歳代の専業主婦が44.67%と約半数を占め、次に40歳代のパートタイム12.67%と、同じく40歳代のフルタイム常勤が13.0%となっている。

表1 グループ分け

グループ	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
専業主婦	171	57.0	171	57.0
内職	6	2.0	177	59.0
パートタイム	46	15.3	223	74.3
フルタイム常勤	51	17.0	274	91.3
学生(自宅通学)	12	4.0	286	95.3
学生(下宿)	14	4.7	300	100.0

表2-1 年齢

年齢	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
20歳未満	24	8.0	24	8.0
20歳代	3	1.0	27	9.0
30歳代	3	1.0	30	10.0
40歳代	217	72.3	247	82.3
50歳代	48	16.0	295	98.3
60歳代	2	0.7	297	99.0
70歳以上	3	1.0	300	100.0

表2-2 年齢×グループ分け

グループ 分け	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	TOTAL
専業主婦	0 0.00 0.00 0.00	1 0.33 0.58 33.33	1 0.33 0.58 33.33	134 44.67 78.36 61.75	31 10.33 18.13 64.58	1 0.33 0.58 50.00	3 1.00 1.75 100.00	171 57.00
内職	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	6 2.00 100.00 2.76	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	6 2.00
パートタイム	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	38 12.67 82.61 17.51	7 2.33 15.22 14.58	1 0.33 2.17 50.00	0 0.00 0.00 0.00	46 15.33
フルタイム常勤	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 0.67 3.92 66.67	39 13.00 76.47 17.97	10 3.33 19.61 20.83	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	51 17.00
学生(自宅通学)	12 4.00 100.00 50.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	12 4.00
学生(下宿)	12 4.00 85.71 50.00	2 0.67 14.29 66.67	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	14 4.67
TOTAL	24 8.00	3 1.00	3 1.00	217 72.33	48 16.00	2 0.67	3 1.00	300 100.00

$$\chi^2 = 317.687 \quad df : 30 \quad p < 0.000$$

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

3. 家族数（Q3）

表3に示すように、4人家族43.3%、5人家族27.0%、次いで6人家族と3人家族が12.3%と同数で、2人以下は5.0%となっている。

4. 洗たくの嗜好度（Q4）

洗たくは、清潔な衣生活を営む上で好き嫌いにかかわらず必要不可欠な家事労働であり、その意識の違いによって洗たくの失敗や、クリーニングミスといった問題と関連があるように思われる。そこで、各自どのような意識を持って洗たくを実施しているのかを調査した。その結果を表4に示す。

「洗たくが好き」39.3%、「どちらかといえば好き」45.3%で、両者を含めると84.6%の人が洗たくに好感を持っていると言える。

クリーニングに関する消費者の意識調査^(注1)によれば、「好き」「どちらかといえば好き」の両者で73.8%となっており、本調査の方がこれよりも約10%多く洗たくが好まれている。このことは、年々洗たく機などの設備や洗たくに関わる製品、洗剤、洗浄補助剤等の開発により洗たく作業の簡便化や、洗たく時間の短縮など労力が軽減されたためではないだろうか。

本調査では、「洗たくの嗜好度」と「衣類の取り扱いの失敗の有無」をクロス集計したが、積極的な関連性を認めることはできなかった。

(注1) 60年度クリーニングに関する消費者の意識調査；全国環境衛生営業指導センター

5. 家電用品の所持率（Q5）

昨今電化製品の開発が進むにつれて、洗たく機や乾燥機など洗たくに関わる設備や製品も年々多種多様化の傾向にある。そこで、現在実際に家庭でどの程度の設備や製品が使用されているかを多重回答により調査した。その結果を表5-1～表5-6に示す。

洗たく機では「二槽式」が57.0%と最も多く、次いで「全自動」32.7%、「半自動」15.7%となっており、「二槽式」が約半数を占めてはいるが、今後「全自動」がどの程度普及するのか注目される所であろう。

乾燥機は11.7%、ズボンプレスナーは15.7%と、まだあまり普及していないようである。

アイロンは97.7%と、ほとんどの家庭が所持しており、洗たく機と共に家電用品として必要不可欠なものであるといえる。

6. 洗たく回数（Q6）

家庭での洗たく回数は、表6の通り「毎日洗たくする」が83.0%と大半を占めており、先の「洗たくの嗜好度」と合わせて考えると日本人は洗たく好きであるということがわかる。

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

表3 家族数

家族数	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
1人	11	3.7	11	3.7
2人	4	1.3	15	5.0
3人	37	12.3	52	17.3
4人	130	43.3	182	60.7
5人	81	27.0	263	87.7
6人以上	37	12.3	300	100.0

表4 洗たくの嗜好度

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
好き	118	39.3	118	39.3
どちらかといえば好き	136	45.3	254	84.7
どちらかといえば嫌い	41	13.7	295	98.3
嫌い	5	1.7	300	100.0

表5 家庭用品の所持率

表5-1 家電用品の所持率（全自動洗濯機）

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
持っている	98	32.7	98	32.7
持っていない	202	67.3	300	100.0

表5-4 家電用品の所持率（乾燥機）

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
持っている	35	11.7	35	11.7
持っていない	265	88.3	300	100.0

表5-2 家電用品の所持率（半自動二槽式洗たく機）

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
持っている	47	15.7	47	15.7
持っていない	253	84.3	300	100.0

表5-5 家電用品の所持率（ズボンプレスサー）

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
持っている	47	15.7	47	15.7
持っていない	253	84.3	300	100.0

表5-3 家電用品の所持率（二槽式洗たく機）

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
持っている	171	57.0	171	57.0
持っていない	129	43.0	300	100.0

表5-6 家電用品の所持率（アイロン）

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
持っている	293	97.7	293	97.7
持っていない	7	2.3	300	100.0

表6-1 洗たく回数

回数	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
一週間にほぼ毎日	249	83.0	249	83.0
一週間にほぼ2~3回	39	13.0	288	96.0
一週間にほぼ1回	3	1.0	291	97.0
わからない	9	3.0	300	100.0

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

表6-2 家族数×洗たく回数

洗たく回数 家族数	一週間に ほぼ毎日	一週間に ほぼ2~3回	一週間に ほぼ1回	わからない	TOTAL
1人	3	5	1	2	11
	1.00	1.67	0.33	0.67	3.67
	27.27	45.45	9.09	18.18	
	1.20	12.82	33.33	22.22	
2人	3	1	0	0	4
	1.00	0.33	0.00	0.00	1.33
	75.00	25.00	0.00	0.00	
	1.20	2.56	0.00	0.00	
3人	28	7	0	2	37
	9.33	2.33	0.00	0.67	12.33
	75.68	18.92	0.00	5.41	
	11.24	17.95	0.00	22.22	
4人	111	15	0	4	130
	37.00	5.00	0.00	1.33	43.33
	85.38	11.54	0.00	3.08	
	44.58	38.46	0.00	44.44	
5人	71	8	1	1	81
	23.67	2.67	0.33	0.33	27.00
	87.65	9.88	1.23	1.23	
	28.51	20.51	33.33	11.11	
6人以上	33	3	1	0	37
	11.00	1.00	0.33	0.00	12.33
	89.19	8.11	2.70	0.00	
	13.25	7.69	33.33	0.00	
TOTAL	249	39	3	9	300
	83.00	13.00	1.00	3.00	100.00

$$\chi^2=37.979 \quad df: 15 \quad P < 0.001$$

「家族数」と「洗たく回数」をクロス集計した結果は、表6-2に示す通りである。

家族数が増加するほど衣類の数も多く、それに伴って必然的に洗たく回数も多くなると考えられる。

7. 衣類の取り扱いの失敗の有無（家庭）(Q7)

家庭において、洗たくや漂白など衣類の取り扱いに失敗したことがあるか否かを調査した結果を表7に示す。衣類の取り扱いに65.3%と相当多くが失敗をしている。

表7 衣類の取り扱いの失敗の有無（家庭）

失 敗	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
あ る	196	65.3	196	65.3
な い	104	34.7	300	100.0

8. 失敗の内容 (Q8)

家庭で衣類の取り扱いに失敗した場合について、その取り扱い失敗の内容を調べるために、a. 取り扱いの種類、b. 衣類の素材(繊維)、c. 失敗の状態の3点を調査した結果は次の通りである。(表中のパーセントについては、衣類の取り扱いに失敗していない者も含む)

8-a 取り扱いの種類 (Q8-a)

どのような衣類の取り扱いをした場合に失敗しているかを表8-a-1～表8-a-5に示した。

表8-a 失敗の内容(取り扱いの種類)

表8-a-1 取り扱い-洗たく機で洗った時

洗たく機	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	115	38.3	115	38.3
選ばなかった人	81	27.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-a-4 取り扱い-手洗いの時

手洗い	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	28	9.3	28	9.3
選ばなかった人	168	56.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-a-2 取り扱い-漂白した時

漂白	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	96	32.0	96	32.0
選ばなかった人	100	33.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-a-5 取り扱い-干している時

干している時	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	1	0.3	1	0.3
選ばなかった人	195	65.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-a-3 取り扱い-アイロン掛けの時

アイロン掛け	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	36	12.0	36	12.0
選ばなかった人	160	53.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

「洗たく機で洗ったとき」が38.3%と一番失敗をおこしており、次いで「漂白したとき」(32.0%)、「アイロン掛けのとき」(12.0%)、「手洗いのとき」(9.3%)「干している時」(0.3%)の順で失敗している。

8-b. 衣類の素材 (Q8-b)

表8-b-1～表8-b-12に示したように、衣類の素材では、綿(29.3%)、ウール(20.3%)、混紡もの(9.3%)の順に失敗をおこしており、天然繊維を失敗していることがわかる。

洗たくおよびクリーニングに関する研究 (第1報)

表 8-b 失敗の内容 (衣類の素材)

表 8-b-1 衣類の素材-綿

綿	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	88	29.3	88	29.3
選ばなかった人	108	36.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-7 衣類の素材-ポリエステル

ポリエステル	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	12	4.0	12	4.0
選ばなかった人	184	61.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-2 衣類の素材-ウール

ウール	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	61	20.3	61	20.3
選ばなかった人	135	45.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-8 衣類の素材-ナイロン

ナイロン	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	9	3.0	9	3.0
選ばなかった人	187	62.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-3 衣類の素材-絹

絹	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	18	6.0	18	6.0
選ばなかった人	178	59.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-9 衣類の素材-アクリル

アクリル	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	7	2.3	7	2.3
選ばなかった人	189	63.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-4 衣類の素材-麻

麻	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	26	8.7	26	8.7
選ばなかった人	170	56.7	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-10 衣類の素材-混紡もの

混紡もの	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	28	9.3	28	9.3
選ばなかった人	168	56.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-5 衣類の素材-レーヨン

レーヨン	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	21	7.0	21	7.0
選ばなかった人	175	58.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-11 衣類の素材-その他

その他	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選ばなかった人	196	65.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-6 衣類の素材-アセテート

アセテート	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	2	0.7	2	0.7
選ばなかった人	194	64.7	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-b-12 衣類の素材-わからない

わからない	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	23	7.7	23	7.7
選ばなかった人	173	57.7	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

8-c 失敗の状態 (Q8-c)

失敗の状態では、表8-c-1～表8-c-12のように、収縮（33.0%）が最も多く、次いで色落ち（29.0%）、色移り（23.3%）、型くずれ（15.0%）、変色（13.3%）となっている。

以上の失敗の内容を10年前の倉敷レーヨンの調査と比較すれば、同傾向の結果であり、10年後の現在、家庭での衣類の取り扱いにおける失敗の内容はあまり変わっていないと言えるよう。

表8-c 失敗の内容（失敗の状態）

表8-c-1 失敗の状態－収縮

収縮	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	99	33.0	99	33.0
選ばなかった人	97	32.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-c-2 失敗の状態－伸びた

伸びた	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	17	5.7	17	5.7
選ばなかった人	179	59.7	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-c-3 失敗の状態－色が落ちた

色が落ちた	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	87	29.0	87	29.0
選ばなかった人	109	36.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-c-4 失敗の状態－色が移った

色が移った	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	70	23.3	70	23.3
選ばなかった人	126	42.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-c-5 失敗の状態－変色した

変色した	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	40	13.3	40	13.3
選ばなかった人	156	52.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-c-6 失敗の状態－型がくずれた

型がくずれた	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	45	15.0	45	15.0
選ばなかった人	151	50.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-c-7 失敗の状態－ほつれた

ほつれた	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	14	4.7	14	4.7
選ばなかった人	182	60.7	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-c-8 失敗の状態－毛玉ができた

毛玉ができた	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	19	6.3	19	6.3
選ばなかった人	177	59.0	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-c-9 失敗の状態－硬くなった

硬くなった	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	18	6.0	18	6.0
選ばなかった人	178	59.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表8-c-10 失敗の状態－アイロン跡がついた

アイロン跡がついた	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	8	2.7	8	2.7
選ばなかった人	188	62.7	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

洗たくおよびクリーニングに関する研究 (第1報)

表 8-c-11 失敗の状態—光沢やつやがなくなった

光沢やつやがなくなった	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	20	6.7	20	6.7
選ばなかった人	176	58.7	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

表 8-c-12 失敗の状態—その他

その他	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	6	2.0	6	2.0
選ばなかった人	190	63.3	196	65.3
失敗した事のない人	104	34.7	300	100.0

(注2)「現代ミセスの衣料取り扱い」(1978)、首都圏と京阪神800人の主婦を対象としたアンケート調査：昭和53年6月8日 朝日新聞

次に「衣類の取り扱い失敗の内容」において、「取り扱いの種類」と「衣類の素材」を取りあげ、クロス集計を行った結果を表(8-a)×(8-b)に示す。

表(8-a)×(8-b)衣類の取り扱いの種類×衣類の素材

衣類の 取り扱いの種類	衣類の 素材											T O T A L
	綿	ウ ール	絹	麻	レ イ ヨ ン	ア セ テ ー ト	ポ リ エ ス テ ル	ナ イ ロ ン	ア ク リ ル	混 紡 も の	わ か ら な い	
洗たく機で 洗った時	14	12	2	6	3	0	0	1	0	11	12	61
	7.14	6.13	1.02	3.06	1.53	0.00	0.00	0.51	0.00	5.61	6.12	31.12
	22.95	19.67	3.28	9.84	4.92	0.00	0.00	1.64	0.00	18.03	19.67	
漂白した時	33	6	4	7	5	1	3	1	2	7	7	76
	16.85	3.06	2.04	3.57	2.55	0.51	1.53	0.51	1.02	3.57	3.57	38.78
	43.42	7.89	5.26	9.21	6.58	1.32	3.95	1.32	2.63	9.21	9.21	
アイロン掛け の時	1	1	1	1	7	1	5	4	1	6	3	31
	0.51	0.51	0.51	0.51	3.57	0.51	2.55	2.04	0.51	3.06	1.53	15.81
	3.23	3.23	3.23	3.23	22.58	3.23	16.12	12.90	3.23	19.35	9.67	
手洗いの時	0	12	2	3	2	0	0	0	2	4	2	27
	0.00	6.13	1.02	1.53	1.02	0.00	0.00	0.00	1.02	2.04	1.02	13.78
	0.00	44.44	7.41	11.11	7.41	0.00	0.00	0.00	7.41	14.81	7.41	
干している時	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.51	0.00	0.00	0.51
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	
TOTAL	48	31	9	17	17	2	8	6	6	28	24	196
	24.50	15.83	4.59	8.67	8.67	1.02	4.08	3.06	3.06	14.28	12.24	100.00

$$\chi^2=125.791 \quad df:40 \quad P<0.000$$

「綿を漂白」して失敗33人(16.85%)が一番多く、次いで「綿を洗たく機で洗ったとき」14人(7.14%)、「ウールを洗たく機で洗ったとき」12人(6.13%)および「ウールを手洗したとき」12人(6.13%)の順に失敗している。

次に、「素材」を軸にみれば、「綿」を失敗した48人（24.50%）中33人（16.85%）が「漂白」で失敗し、14人（7.14%）が「洗たく機で洗ったとき」に失敗している。次に「ウール」を失敗した31人（15.83%）中12人（6.13%）が「洗たく機」と「手洗い」で失敗していることがわかる。

また、「取り扱いの種類」を軸にみれば、「漂白」で失敗した76人（38.78%）中33人（16.85%）が「綿」で失敗し、次に、7人（3.57%）が「麻」と「混紡もの」で失敗している。

「洗たく機で洗ったとき」に失敗した61人（31.12%）中14人（7.14%）が「綿」で失敗し、12人（6.13%）が「ウール」で失敗し、11人（5.61%）が「混紡もの」で失敗している結果となった。

以上の結果より、「綿」や「ウール」の天然繊維を取り扱う際は、特に「漂白」において注意しなければならないことがわかる。

χ^2 検定では「衣類の取り扱いの種類」と「衣類の素材」との項目間には、0.1%レベルで有意な差が認められた。

「衣類の取り扱いの種類」と「取り扱い失敗の状態」とのクロス集計では、表（8-a）×（8-c）のように、一番失敗しているのは、「漂白での色落ち」24人（12.24%）であり、次いで「洗たく機で洗ったときの色移り」22人（11.22%）、「洗たく機で洗ったときの収縮」18人（9.18%）、「漂白での変色」15人（7.65%）、「アイロン掛けによりアイロンの跡がついた」13人（6.63%）の順となる。

また、「衣類の取り扱いの種類」を軸にみれば、「漂白」で失敗した76人（38.78%）中「色落ち」の失敗は24人（12.24%）で、「変色」15人（7.65%）、「色移り」12人（6.12%）という結果になった。

さらに、「取り扱い失敗の状態」を軸にみれば、「色移り」をおこした35人中22人（11.22%）は「洗たく機で洗ったとき」に色移りさせ、12人（6.12%）が「漂白」したときとなっている。

衣類を「収縮」させた30人（15.31%）中18人（9.18%）は「洗たく機で洗ったとき」に収縮させており、10人（5.10%）が「手洗いのとき」に「収縮」させている。

χ^2 検定では、両項目間には0.1%レベルで有意な差が認められた。

以上の結果より、「漂白」で失敗をおこしやすいことがわかる。

現在、比較的使用しやすい酸素系漂白剤においても、反応性染料で染色された衣類の場合は、酸素系漂白剤の酸化により脱色^(注3)をおこすものもある。

したがって、漂白での失敗を防ぐには、漂白処理をする前に使用できるかどうかについてテストして試みるのが大切である。

（注3） 日本石鹼洗剤工業会編；暮らしの清潔。失敗事例集、p 9（1987）

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

表(8-a)×(8-c)衣類の取り扱いの種類×失敗の状態

失敗の状態 衣類の 取り扱いの 種類	収縮	伸びた	色が落ちた	色が移った	変色した	型がくずれた	ほつれた	毛玉ができた	硬くなった	がアイロンの跡	な光沢やっつたが	その他	TOTAL
洗たく機で洗った時	18 9.18 29.51 60.00	2 1.02 3.28 66.67	3 1.53 4.92 11.11	22 11.22 36.07 62.86	2 1.02 3.28 10.00	6 3.06 9.84 30.00	2 1.02 3.28 33.33	0 0.00 0.00 0.00	5 2.55 8.20 33.33	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 1.64 14.29	0 0.00 0.00 0.00	61 31.12
漂白した時	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	24 12.24 31.58 88.89	12 6.12 15.79 34.29	15 7.65 19.74 75.00	9 4.59 11.84 45.00	3 1.53 3.95 50.00	5 2.55 6.58 50.00	5 2.55 6.58 33.33	1 0.51 1.32 5.88	2 1.02 2.63 28.57	0 0.00 0.00 0.00	76 38.78
アイロン掛けの時	2 1.02 6.45 6.67	1 0.51 3.23 33.33	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 3.23 5.00	3 1.53 9.68 15.00	1 0.51 3.23 16.67	2 1.02 6.45 20.00	1 0.51 3.23 6.67	13 6.63 41.94 76.47	2 1.02 6.45 28.57	5 2.55 16.13 83.33	31 15.82
手洗いの時	10 5.10 37.04 33.33	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 3.70 2.86	2 1.02 7.41 10.00	2 1.02 7.41 10.00	0 0.00 0.00 0.00	3 1.53 11.11 30.00	3 1.53 11.11 20.00	3 1.53 11.11 17.65	2 1.02 7.41 28.57	1 0.51 3.70 16.67	27 13.78
干している時	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 100.0 6.67	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51
TOTAL	30 15.31	3 1.53	27 13.78	35 17.86	20 10.20	20 10.20	6 3.06	10 5.10	15 7.65	17 8.67	7 3.57	6 3.06	196 100.00

$$\chi^2=187.590 \quad df: 44 \quad P<0.000$$

「衣類の素材」と「失敗の状態」とのクロス集計の結果を表(8-b)×(8-c)に示す。

失敗が多いのは「綿の色移り」19人(9.69%)、「綿の色落ち」16人(8.17%)、「ウールの収縮」15人(7.66%)、「綿の変色」8人(4.08%)の順になる。

また、「衣類の素材」を軸にみれば、「綿」で失敗をおこした48人(24.49%)中、「色移り」させたのは19人(9.69%)で、16人(8.17%)は「色落ち」、8人(4.08%)が「変色」させている。

「ウール」で失敗した31人(15.82%)中15人(7.66%)が「収縮」させ、6人(3.06%)が「硬化」させている。

さらに、「衣類の失敗の状態」を軸にみれば、「色移り」させた35人中19人(9.69%)が「綿」の場合であり、3人(1.53%)が「麻」の場合であった。

「収縮」させた30人中15人(7.66%)が「ウール」を、4人(2.04%)が「麻」を収縮させている。

χ^2 検定により、この両者間には0.1%レベルで有意な差が認められる。

以上の結果より、天然繊維を洗たくする場合、染色に関する失敗や収縮などがおこっているため、繊維や染料についての知識が必要であろう。

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

表(8-b)×(8-c)衣類の素材×失敗の状態

失敗の状態 衣類の素材	収縮	伸びた	色が落ちた	色が移った	変色した	型がくずれた	ほつれた	で毛玉が	硬くなった	がアイロンの跡	な光沢やつやが	その他	TOTAL
綿	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	16 8.17 33.33 59.26	19 9.69 39.59 54.29	8 4.08 16.67 40.00	2 1.02 4.17 10.00	1 0.51 2.08 16.67	1 0.51 2.08 10.00	1 0.51 2.08 6.67	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	48 24.49
ウール	15 7.66 48.38 50.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 3.23 3.70	1 0.51 3.23 2.86	1 0.51 3.23 5.00	4 2.04 12.90 20.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.02 6.45 20.00	6 3.06 19.35 40.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 3.23 14.29	0 0.00 0.00 0.00	31 15.82
絹	1 0.51 11.11 3.33	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 11.11 3.70	0 0.00 0.00 0.00	3 1.53 33.34 15.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 11.11 6.67	2 1.02 22.22 11.76	1 0.51 11.11 14.29	0 0.00 0.00 0.00	9 4.59
麻	4 2.04 23.53 13.33	0 0.00 0.00 0.00	3 1.53 17.65 11.11	3 1.53 17.65 8.57	1 0.51 5.88 5.00	4 2.04 23.53 20.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 5.88 10.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 5.88 14.29	0 0.00 0.00 0.00	17 8.67
レーヨン	2 1.02 11.76 6.67	1 0.51 5.88 33.33	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.02 11.76 10.00	3 1.53 17.66 15.00	1 0.51 5.88 10.00	1 0.51 5.88 6.67	1 0.51 5.88 6.67	3 1.53 17.66 17.65	1 0.51 5.88 14.29	2 1.02 11.76 33.33	17 8.67
アセテート	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 50.00 5.00	1 0.51 50.00 16.67	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.02
ポリエステル	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 1.53 37.50 11.11	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 12.50 6.67	3 1.53 37.50 17.65	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 12.50 16.67	8 4.08
ナイロン	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 16.67 5.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 16.67 16.67	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.02 33.32 11.76	1 0.51 16.67 14.29	1 0.51 16.67 16.67	6 3.06
アクリル	1 0.51 16.67 3.33	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 16.67 5.00	1 0.51 16.67 16.67	1 0.51 16.67 10.00	1 0.51 16.67 6.67	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 16.67 16.67	6 3.06
混紡もの	4 2.04 14.29 13.33	1 0.51 3.57 33.33	0 0.00 0.00 0.00	5 2.56 17.86 14.29	1 0.51 3.57 5.00	3 1.53 10.71 15.00	0 0.00 0.00 0.00	4 2.04 14.29 40.00	3 1.53 10.71 20.00	5 2.56 17.86 29.41	2 1.02 7.14 28.57	0 0.00 0.00 0.00	28 14.30
わからない	3 1.53 12.50 10.00	1 0.51 4.17 33.33	3 1.53 12.50 11.11	7 3.57 29.16 20.00	3 1.53 12.50 15.00	2 1.02 8.33 10.00	1 0.51 4.17 16.67	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 4.17 6.67	2 1.02 8.33 11.76	0 0.00 0.00 0.00	1 0.51 4.17 16.47	24 12.24
TOTAL	30 15.31	3 1.53	27 13.78	35 17.86	20 10.20	20 10.20	6 3.06	10 5.10	15 7.65	17 8.68	7 3.57	6 3.06	1.96 100.00

 $\chi^2=216.349$ df: 110 P<0.000

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

9. 使用洗剤（Q9）

現在使用している洗たく用洗剤について調査した結果を表9に示す。

表9 使用洗剤

種類	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
せっけん	27	9.0	27	9.0
合成洗剤	127	42.3	154	51.3
新型洗剤	146	48.7	300	100.0

バイオ技術から生まれた新型洗剤の使用度が48.7%と半数近くを占めている。次いで合成洗剤の42.3%であり、せっけん（粉末、固形、液体）は9.0%と前回の調査（^{注4}）（専業主婦の使用度65.7%、有職主婦の使用度65.4%）に比べて使用度はきわめて少なくなっている。

なっている。

昨年、バイオテクノロジーによる新しい酵素入りの小型洗剤が発売された。これは、セルロースを分解して、セルロース繊維の奥深くに入りこんだ汚れの除去を手助けするセルロース分解酵素（セルラーゼ）や、脂質分解酵素（リパーゼ）を利用したものなどである。

しかし、小型の新型洗剤とはいえ、やはり合成洗剤であるので安全性の面からは問題が考えられ、せっけんの使用が望まれる。

（注4） 笹山益子ほか：大手前女子短期大学研究集録5，P. 172（1983）

（注5） 永山升三：洗濯の科学 NO33. 5，P. 10～15（1988）

10. 新型洗剤の使用理由（Q10）

新型洗剤を使用している理由をみれば、表10のように「汚れがよく落ちると思うから」（28.1%）と多く、次いで「保管場所が狭くてすむ」（27.4%）、「持ち運びが簡単」（20.6%）の順となっている。

これは、新しい酵素の効用を考え、かさばらず場所をとらない理由で洗剤を選んでいるものと思われる。

表10 新型洗剤（バイオ洗剤）の使用理由

理由	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
持ち運びが簡単	30	20.6	30	20.6
保管場所が狭くてすむ	40	27.4	70	48.0
宣伝を見て	12	8.2	82	56.2
汚れがよく落ちると思う	41	28.1	123	84.3
なんとなく	12	8.2	135	92.5
もらったから	11	7.5	146	100.0

11. 衣料品購入時の洗たくに対する意識（Q11）

表11-1に示したように、衣料品購入時に家で洗えるかどうか考える人は74.7%と多かった。

これは、前述のアンケート調査での考える人が57.2%に比べて相当多く、「洗たく」に関する関心度が高いといえよう。

（注6） 前掲調査，全国環境衛生営業指導センター：1985

表11-1 衣料品購入時の洗たくに対する意識

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
考 え る	224	74.7	224	74.7
考 え な い	76	25.3	300	100.0

12. 衣料品の値段によるクリーニング店の
選択 (Q12)

「衣料購入時の値段によってクリーニング店を変えるか」との質問に対して、変えると答えた人は表12に示すように32.7%

あるが、変えないと答えた人は67.3%となっており、購入時の価格でクリーニング店を変えないことがわかる。この結果は図1の55年度、60年度の調査と同じ傾向である。このことは近年、高級品用クリーニング店として老舗を誇る店もあるが、チェーン店のようなクリーニング店が多発し、技術も向上してきたためと思われる。

表12 衣料品の値段によるクリーニング店の選択

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
変 え る	98	32.7	98	32.7
変 え な い	202	67.3	300	100.0

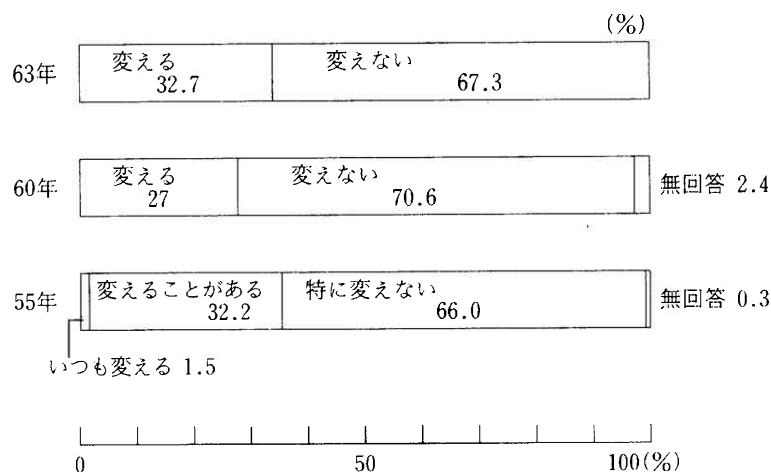


図1 衣料品の値段によるクリーニング店の選択

(注7) 前掲調査，全国環境衛生営業指導センター：1985

13. 衣料品のクリーニングに関する知識の有無 (Q13)

最近新しく開発された新加工によるもの（樹脂やゴムをコーティング、金箔や銀箔、発泡剤等を使用）や異質な素材を組合せたデザインのもの（麻と革、麻とナイロン、綿とラメ糸等を使用）が多く出回っているが、この中にはクリーニング出来ないものがある。このことを知っているかとの質問には、表13のように知っていると答えた人は71.0%と多く、知らないと答えた人は29.0%である。これを50年度、60年度の調査と比べてみると、図2のようにクリーニングに対して関心度が高くなっていることがわかる。

洗たくおよびクリーニングに関する研究 (第1報)

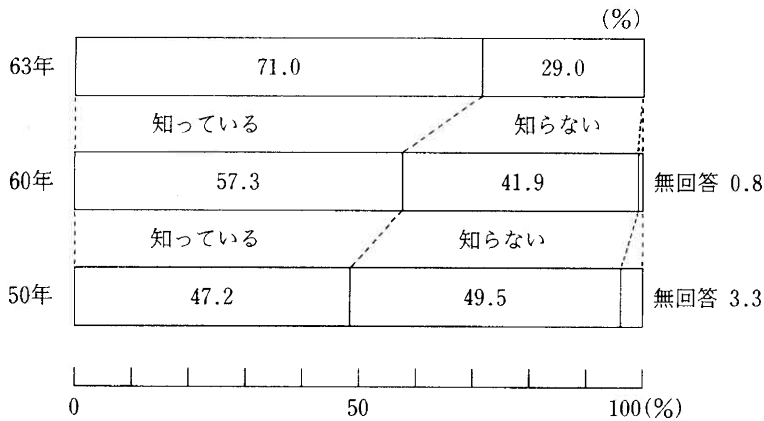


表13 衣料品のクリーニングに関する知識の有無

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
知っている	213	71.0	213	71.0
知らない	87	29.0	300	100.0

図2 衣料品のクリーニングに関する知識の有無

(注8) 前掲調査, 全国環境衛生営業指導センター: 1985

14. 洗たく状況 (Q14)

現在各種衣料の洗たくをどのようにしているかを表14-1~表14-5に示す。

表14 洗たく状況

表14-1 カッターシャツの場合

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
家で全部する	92	30.7	92	30.7
品物によりクリーニングに出す	127	42.3	219	73.0
全部クリーニングに出す	74	24.7	293	97.7
わからない	3	1.0	296	98.7
その他	4	1.3	300	100.0

表14-4 セーター, カーディガンの場合

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
家で全部する	31	10.3	31	10.3
品物によりクリーニングに出す	198	66.0	229	76.3
全部クリーニングに出す	70	23.3	299	99.7
わからない	1	0.3	300	100.0

表14-2 ブラウス(綿)の場合

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
家で全部する	170	56.7	170	56.7
品物によりクリーニングに出す	119	39.7	289	96.3
全部クリーニングに出す	10	3.3	299	99.7
その他	1	0.3	300	100.0

表14-5 外出着(スリーシーズン)の場合

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
家で全部する	4	1.3	4	1.3
品物によりクリーニングに出す	98	32.7	102	34.0
全部クリーニングに出す	197	65.7	299	99.7
わからない	1	0.3	300	100.0

表14-3 ブラウス(化繊)の場合

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
家で全部する	129	43.0	129	43.0
品物によりクリーニングに出す	144	48.0	273	91.0
全部クリーニングに出す	20	6.7	293	97.7
わからない	7	2.3	300	100.0

大手前女子学園「研究集録」第8号（1988年）

○カッターシャツの場合……生地によってはノーアイロンのものもあり、「品物によりクリーニングに出す」と答えた人が42.3%で、これは自家洗いとクリーニングを使いわけていることを示す。絹100%、麻100%、綿100%のものなどに於いては、アイロン掛けもむづかしいためクリーニング店を利用するのであろう。

○ブラウスの場合……ブラウス綿の場合は自家洗いが多く56.7%であり、ブラウス化繊の場合43.0%より多くなっている。これは5年前の調査結果とよく似ている。^(注9)

○セーター・カーディガンの場合……クリーニング店と自家洗いを使いわけていることがわかる。最近デザインの凝った外出着が多くなっているので、それらのものについてはクリーニング店の利用が考えられる。

○外出着（スリーシーズン）の場合……「全部クリーニングに出す」場合が65.7%と半数以上を占め、「品物によりクリーニングに出す」が32.7%となっている。これは5年前の調査結果と似ているが、衣料品の多様化が更に進んできているのに加え、クリーニング店も多くなり、簡便志向の傾向が強くなっているのではないだろうか。

(注9) 笹山ほか：前掲書，5

(注10) 笹山ほか：前掲書，5

15. クリーニング店の利用理由（Q15）

最もよく利用しているクリーニング店についての利用理由は、表15-1～表15-9のように、「近くにある」と答えた人が58.7%であり、店舗の近距離性が強い要因となっている。次に「安心できる」という信頼性が37.7%、「仕上りがよい」という仕事の内容性が29.7%、「料金が安い」という経済性が21.7%、「集配達してくれる」という便利性が18.3%となっている。60年の調査結果では「仕上りがよい」、「安心できる」という理由が上位を占めていたが、今回の調査では「近くにある」という理由が大半を占め、近距離性が重んじられている。このことは、クリーニング店の数が多くなり、家の近くで満足できる店が増えてきたことを示すものと考えられる。^(注11)

表15 クリーニング店の利用の理由

表15-1 仕上りが良いので

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	89	29.7	89	29.7
選ばなかった人	211	70.3	300	100.0

表15-2 出来上り日が確実なので

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	53	17.7	53	17.7
選ばなかった人	247	82.3	300	100.0

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

表15-3 安心出来る店なので

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	113	37.7	113	37.7
選ばなかった人	187	62.3	300	100.0

表15-4 近くにあるので

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	176	58.7	176	58.7
選ばなかった人	124	41.3	300	100.0

表15-5 日曜、祭日も営業しているので

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	16	5.3	16	5.3
選ばなかった人	284	94.7	300	100.0

表15-6 遅くまで営業しているので

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	3	1.0	3	1.0
選ばなかった人	297	99.0	300	100.0

表15-7 集配達してくれるから

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	55	18.3	55	18.3
選ばなかった人	245	81.7	300	100.0

表15-8 仕上り(出来上り)が早いので

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	43	14.3	43	14.3
選ばなかった人	257	85.7	300	100.0

表15-9 料金が安いから

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	65	21.7	65	21.7
選ばなかった人	235	78.3	300	100.0

(注11) 笹山ほか：前掲書，5

16. クリーニング事故 (Q16)

クリーニング事故の経験率は、表16のように、44.3%であった。

表16 クリーニング事故

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
事故があった	133	44.3	133	44.3
事故がない	167	55.7	300	100.0

17. クリーニング事故 (内容) (Q17)

クリーニング事故の経験者に対して、事故の内容について調べた結果は、表17-1～表17-15の通りである。

事故の内容は、「付属品の紛失、破損」が14.0%と一番多く、次に「収縮」10.7%、「紛失や品物のまちがい」10.3%、「変色」10.0%、「しみ」6.7%が主なものである。

全国クリーニング連合会・クリーニング総合研究所による事故衣料品鑑定統計によれば、表17-16のように「変色」、「シミ」、「穴あき」、「脱色」、「収縮」の事故が多いが、本調査でも「収縮」、「変色」、「シミ」はクリーニング事故が多くなっている。

表17 クリーニング事故の内容

表17-1 紛失や品物のまちがい

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	31	10.3	31	10.3
選ばなかった人	102	34.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-6 こげ

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	3	1.0	3	1.0
選ばなかった人	130	43.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-2 付属品(ボタン、ベルトなど)の紛失、破損

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	42	14.0	42	14.0
選ばなかった人	91	30.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-7 しみ

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	20	6.7	20	6.7
選ばなかった人	113	37.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-3 破損

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	11	3.7	11	3.7
選ばなかった人	122	40.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-8 のびた

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	10	3.3	10	3.3
選ばなかった人	123	41.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-4 色落ち又は変色

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	30	10.0	30	10.0
選ばなかった人	103	34.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-9 収縮

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	32	10.7	32	10.7
選ばなかった人	101	33.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-5 色が移った

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	10	3.3	10	3.3
選ばなかった人	123	41.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-10 生地がゴワゴワした

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	11	3.7	11	3.7
選ばなかった人	122	40.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

表17-11 ブリーツが消えた

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	4	1.3	4	1.3
選ばなかった人	129	43.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-12 アイロンの後かたがきえない

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	14	4.7	14	4.7
選ばなかった人	119	39.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-13 裏のコーティングがボロボロになりはがれた

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	1	0.3	1	0.3
選ばなかった人	132	44.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-14 模様が部分的にはがれた

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	3	1.0	3	1.0
選ばなかった人	130	43.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-15 その他

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	5	1.7	5	1.7
選ばなかった人	128	42.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表17-16 クリーニング事故別件数

事故品	60年度	61年度
変色	126	145
シミ	74	95
穴あき	41	85
脱色	89	83
収縮	87	67
破損	66	57
黄変	40	41
白化	22	33
退色	17	31
剥離	23	30
色泣き	10	20
金銀消失	4	10
くすみ	10	9
汚染	10	8
脱毛	4	8
毛羽立ち	9	7
硬変	6	7
伸び	2	7
スレ	17	6
移染	6	5
色むら	5	5
波打ち	4	5
シワ	3	4
フロック脱落	3	4
ほつれ	1	4
キズ	9	3
ラメ消失	3	3
ブリーツ消失	2	3
毛羽消失	1	3
ピリング	5	2
その他	62	70
計	762	860

18. クリーニング事故（衣類の素材）(Q18)

クリーニング事故をおこした衣類の素材については、表18-1～表18-12に示したが、事故の一番多いのが「ウール」16.0%であり、次いで「綿」9.7%、「不明」9.0%、「混紡もの」5.7%が主なものである。これは、「家庭での衣類の取り扱い失敗」の場合とよく似た傾向である。

事故衣料品鑑定統計による表18-13をみれば、やはり「綿」や「毛（ウール）」の事故が多くなっている。

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

表18 クリーニング事故（衣類の素材）

表18-1 衣類の素材—綿

綿	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	29	9.7	29	9.7
選ばなかった人	104	34.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-7 衣類の素材—ポリエステル

ポリエステル	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	9	3.0	9	3.0
選ばなかった人	124	41.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-2 衣類の素材—ウール

ウール	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	48	16.0	48	16.0
選ばなかった人	85	28.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-8 衣類の素材—ナイロン

ナイロン	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	4	1.3	4	1.3
選ばなかった人	129	43.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-3 衣類の素材—絹

絹	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	11	3.7	11	3.7
選ばなかった人	122	40.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-9 衣類の素材—アクリル

アクリル	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	5	1.7	5	1.7
選ばなかった人	128	42.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-4 衣類の素材—麻

麻	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	13	4.3	13	4.3
選ばなかった人	120	40.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-10 衣類の素材—混紡もの

混紡もの	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	17	5.7	17	5.7
選ばなかった人	116	38.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-5 衣類の素材—レーヨン

レーヨン	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	8	2.7	8	2.7
選ばなかった人	125	41.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-11 衣類の素材—皮革

皮革	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	1	0.3	1	0.3
選ばなかった人	132	44.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-6 衣類の素材—アセテート

アセテート	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	1	0.3	1	0.3
選ばなかった人	132	44.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表18-12 衣類の素材—わからない

わからない	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	27	9.0	27	9.0
選ばなかった人	106	35.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

洗たくおよびクリーニングに関する研究 (第1報)

表18-13 素材別件数 (クリーニング事故)

素 材	60年度	61年度
綿	232	266
毛	213	229
ポリエステル	126	129
ナイロン	52	105
麻	66	103
絹	78	83
レーヨン	66	82
アクリル	28	43
アセテート	16	17
皮革	10	13
ポリウレタン	16	11
毛皮	10	10
トリアセテート	2	6
キューブラ	17	5
アングラ	26	4
ゴム	0	3
ポリ塩化ビニル	1	1
その他	15	16
計	974	1,126

次に、「クリーニング事故(内容)」と「クリーニング事故(衣類の素材)」を取り上げクロス集計を行った結果は表17×18の通りである。

表17×18 クリーニング事故の内容×衣類の素材

クリーニング事故の内容	衣類の素材												TOTAL
	綿	ウール	絹	麻	レーヨン	アセテート	ポリエステル	ナイロン	アクリル	混紡もの	皮革	わからない	
紛失や品物のまちがい	1 0.75 11.11 6.25	4 3.01 44.44 11.76	1 0.75 11.11 11.11	0 0.00 00.00 00.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 33.33 11.11	9 6.77
付属品(ボタン、ベルトなど)の紛失、破損	1 0.75 6.25 6.25	7 5.26 43.75 20.59	1 0.75 6.25 11.11	3 2.26 18.75 27.27	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 6.25 5.88	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 18.75 11.11	16 12.03
破損	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 60.00 8.82	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 20.00 25.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 20.00 5.88	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	5 3.76
色落ち又は変色	4 3.01 25.00 25.00	1 0.75 6.25 2.94	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 18.75 27.27	1 0.75 6.25 20.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 12.50 33.33	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 6.25 5.88	0 0.00 0.00 0.00	4 3.01 25.00 14.81	16 12.03
色が移った	1 0.75 16.67 6.25	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 50.00 33.33	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 16.67 20.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 00.00 0.00	1 0.75 16.67 3.70	6 4.51
こげ	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 100.00 2.94	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

衣類の 素材	綿	ウ ール	絹	麻	レ ー ヨ ン	ア セ テ ー ト	ポ リ エ ス テ ル	ナ イ ロ ン	ア ク リ ル	混 紡 も の	皮 革	わ か ら な い	T O T A L
しみ	1 0.75 5.88 6.25	4 3.01 23.53 11.76	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 17.65 27.27	2 1.50 11.76 40.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 5.88 50.00	3 2.26 17.65 17.65	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 17.65 11.11	17 12.78
伸びた	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 25.00 9.09	1 0.75 25.00 20.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 25.00 25.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 25.00 3.70	4 3.01
収縮	3 2.26 11.54 18.75	9 6.77 34.62 26.47	1 0.75 3.85 11.11	1 0.75 3.85 9.09	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 3.85 16.67	1 0.75 3.85 25.00	1 0.75 3.85 50.00	2 1.50 7.69 11.76	1 0.75 3.85 100.00	6 4.51 23.08 22.22	26 19.55
生地が ゴワゴワした	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 25.00 5.88	2 1.50 25.00 5.88	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 37.50 17.65	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 12.50 3.70	8 6.02
ブリーツが 消えた	1 0.75 33.33 6.25	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 33.33 11.11	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 33.33 3.70	3 2.26
アイロンの後か たが消えない	2 1.50 15.38 12.50	2 1.50 15.38 5.88	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 15.38 33.33	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 23.08 17.65	0 0.00 0.00 0.00	4 3.01 30.77 14.81	13 9.77
裏のコーティン グがボロボロに なりはがれた	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 100.00 5.88	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75
模様 が部分的にはが れた	1 0.75 33.33 6.25	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 33.33 100.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 33.33 25.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26
その他	1 0.75 20.00 6.25	1 0.75 20.00 2.94	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 20.00 16.67	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 40.00 11.76	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	5 3.76
TOTAL	16 12.03	34 25.56	9 6.77	11 8.27	5 3.76	1 0.75	6 4.51	4 3.01	2 1.50	17 12.78	1 0.75	27 20.30	133 100.00

$$\chi^2=190.825 \quad df: 154 \quad P < 0.05$$

クリーニング事故発生は、「ウールの収縮」6.77%、「ウールの付属品の紛失、破損」5.26%、「不明繊維の収縮」4.51%、「ウールの紛失や品物のまちがい」3.01%、「ウールのしみ」3.01%、「その他の繊維の変色」3.01%、「不明繊維のアイロン跡」3.01%が主になっている。

洗たくおよびクリーニングに関する研究 (第1報)

また、「クリーニング事故 (内容)」を軸にみれば、「収縮」をおこした26件 (19.55%) の中9件 (6.77%) が「ウール」におこし、6件 (4.51%) が「不明繊維」に収縮をおこしている。

「しみ」がついた17件 (12.78%) の中4件 (3.01%) が「ウール」につき、3件 (2.26%) が「麻」および「混紡もの」、「不明の繊維」についている。

さらに、「衣料品の素材」を軸にみれば、事故をおこした34件 (25.56%) の「ウール」中9件 (6.77%) が「収縮」、7件 (5.26%) が「付属品の紛失、破損」、4件 (3.01%) が「紛失や品物のまちがい」の事故であった。

以上の結果から、クリーニング事故は「ウール」におこりやすく、その内容は、「収縮」、「紛失や品物のまちがい」、「しみ」などであることがわかる。

χ^2 検定により、この両者間にはやや関連がみられる。

19 クリーニング事故 (衣類) (Q19)

表19-1～表19-15のように、「婦人外出着」が14.3%と一番事故をおこしており、次いで、「セーター、カーディガン」9.3%、「スカート」7.7%、「カッターシャツ」6.7%、「オーバーコート」6.0%となる。

表19 クリーニング事故 (衣類)

表19-1 カッターシャツ

カッターシャツ	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	20	6.7	20	6.7
選ばなかった人	113	37.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-2 背広上下

背広上下	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	9	3.0	9	3.0
選ばなかった人	124	41.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-3 オーバーコート

オーバーコート	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	18	6.0	18	6.0
選ばなかった人	115	38.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-4 レインコート

レインコート	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	2	0.7	2	0.7
選ばなかった人	131	43.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-5 ネクタイ

ネクタイ	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	6	2.0	6	2.0
選ばなかった人	127	42.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-6 婦人外出着

婦人外出着	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	43	14.3	43	14.3
選ばなかった人	90	30.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-7 婦人家庭着

婦人家庭着	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	3	1.0	3	1.0
選ばなかった人	130	43.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-8 和服類

和服類	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	6	2.0	6	2.0
選ばなかった人	127	42.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

表19-9 子供外出着

子供外出着	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	16	5.3	16	5.3
選ばなかった人	117	39.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-13 スカート

スカート	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	23	7.7	23	7.7
選ばなかった人	110	36.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-10 毛布

毛布	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	4	1.3	4	1.3
選ばなかった人	129	43.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-14 セーター、カーディガン

セーター カーディガン	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	28	9.3	28	9.3
選ばなかった人	105	35.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-11 皮革製品

皮革製品	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	3	1.0	3	1.0
選ばなかった人	130	43.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-15 マフラー、ショール

マフラー ショール	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	2	0.7	2	0.7
選ばなかった人	131	43.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表19-12 ズボン

ズボン	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	7	2.3	7	2.3
選ばなかった人	126	42.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

次に、「クリーニング事故（内容）」と「クリーニング事故（衣類）」を取り上げ、クロス集計を行った結果を表17×19に示す。

表17×19によれば、「婦人外出着」の「付属品の紛失、破損」が8件（6.02%）と事故が一番多く、次いで7件（5.26%）の事故は「婦人外出着」の「しみ」や「セーター、カーディガン」の「収縮」、「スカート」の「収縮」である。

また、「クリーニング（内容）」を軸にみれば、「収縮」した26件中7件（5.26%）の衣料品は、「セーター、カーディガン」と「スカート」であった。

さらに、「クリーニング事故（衣類）」を軸にみると、「婦人外出着」の31件の事故中8件（6.02%）が「付属品の紛失、破損」であり、7件（5.26%）が「しみ」、6件（4.51%）が「変色」の事故であった。

表17×19 クリーニング事故(内容)×クリーニング事故(衣類)

衣類	カッターシャツ	背広上下	オーバーコート	レインコート	ネクタイ	婦人外出着	婦人家庭着	和服類	子供外出着 (学生服含む)	毛布	皮革製品	ズボン	スカート	セーター テイガン	シマヨフリール	TOTAL
クリーニング事故の内容	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	2	0	9
	0.75	0.75	0.00	0.00	0.00	0.75	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.26	1.50	0.00	6.77
	11.11	11.11	0.00	0.00	0.00	11.11	11.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	33.33	22.22	0.00	
	12.50	20.00	0.00	0.00	0.00	3.23	33.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.79	7.14	0.00	
付属品(ボタン、ベルトなど)の紛失、破損	0	1	1	0	0	8	0	0	2	0	0	0	2	2	0	16
	0.00	0.75	0.75	0.00	0.00	6.02	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	1.50	1.50	0.00	12.03
	0.00	6.25	6.25	0.00	0.00	50.00	0.00	0.00	12.50	0.00	0.00	0.00	12.50	12.50	0.00	
	0.00	20.00	11.11	0.00	0.00	25.81	0.00	0.00	15.38	0.00	0.00	0.00	10.53	7.14	0.00	
破損	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	5
	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.75	0.00	0.00	0.75	0.75	0.00	3.76
	0.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00	20.00	0.00	0.00	20.00	20.00	0.00	
	0.00	0.00	11.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.69	25.00	0.00	0.00	5.26	3.57	0.00	
色落ち又は変色	2	1	2	0	0	6	0	0	2	0	0	0	1	2	0	16
	1.50	0.75	1.50	0.00	0.00	4.51	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.75	1.50	0.00	12.03
	12.50	6.25	12.50	0.00	0.00	37.50	0.00	0.00	12.50	0.00	0.00	0.00	6.25	12.50	0.00	
	25.00	20.00	22.22	0.00	0.00	19.35	0.00	0.00	15.38	0.00	0.00	0.00	5.26	7.14	0.00	
色が移った	0	0	1	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	2.26	0.75	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.51
	0.00	0.00	16.67	0.00	0.00	50.00	16.67	16.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	0.00	0.00	11.11	0.00	0.00	9.68	33.33	33.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
こげ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.75
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.26	0.00	0.00	
しみ	1	1	0	0	1	7	1	0	1	1	0	1	0	3	0	17
	0.75	0.75	0.00	0.00	0.75	5.26	0.75	0.00	0.75	0.75	0.00	0.75	0.00	2.26	0.00	12.78
	5.88	5.88	0.00	0.00	5.88	41.18	5.88	0.00	5.88	5.88	0.00	5.88	0.00	17.65	0.00	
	12.50	20.00	0.00	0.00	100.00	22.58	33.33	0.00	7.69	25.00	0.00	20.00	0.00	10.71	0.00	
伸びた	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	4
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	2.26	0.00	3.01
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	75.00	0.00	
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.69	0.00	0.00	0.00	0.00	10.71	0.00		

衣類	カッターシャツ	背広上下	オーバーコート	レインコート	ネクタイ	婦人外出着	婦人家庭着	和服類	子供外出着 (学生服含む)	毛布	皮革製品	ズボン	スカート	カーデイガン	シマヨブロー	TOTAL
クリーニング事故の内容																
収縮	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 7.69 22.22	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 7.69 6.45	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 7.69 66.67	2 1.50 7.69 15.38	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 3.85 100.00	2 1.50 7.69 40.00	7 5.26 26.92 36.84	7 5.26 26.92 25.00	1 0.75 3.85 50.00	26 19.55
生地がゴワゴワした	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 25.00 22.22	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 12.50 3.23	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 12.50 25.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 37.50 10.71	1 0.75 12.50 50.00	8 6.02
プリーツが消えた	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 33.33 7.69	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 66.67 10.53	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26
アイロンの後かたが消えない	3 2.26 23.08 37.50	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 7.69 100.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 23.08 23.08	1 0.75 7.69 25.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 15.38 10.53	3 2.26 23.08 10.71	0 0.00 0.00 0.00	13 9.77
裏のコーティングがボロボロになりはがれた	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 100.00 20.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75
模様が部分的にはがれた	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 100.00 9.68	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26
その他	1 0.75 20.00 12.50	1 0.75 20.00 20.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 20.00 20.00	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50 40.00 7.14	0 0.00 0.00 0.00	5 3.76
TOTAL	8 6.02	5 3.76	9 6.77	1 0.75	1 0.75	31 23.31	3 2.26	3 2.26	13 9.77	4 3.01	1 0.75	5 3.76	19 14.29	28 21.05	2 1.50	133 100.00

 $\chi^2 = 202.587$ df : 196 n.s.

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

これらの結果から、「婦人外出着」や「セーター、カーディガン」の衣料品の事故が多く、事故内容は「収縮」や「付属品の紛失、破損」であった。

「セーター、カーディガン」は、家庭洗たくで失敗しやすいが、クリーニングに出しても事故が発生している。

最近はやりの獣毛繊維の「カシミア」や「アンゴラ」製品の中には、クリーニングの溶剤中で強い機械力をかけて洗うクリーニングよりも、風合を保つためには、家庭洗たくが良い場合もあろう。

χ^2 検定では有意差はなく、これらの両者間には関連性はみられない。

20. 事故に対する処置 (Q20)

クリーニング事故に対する処置としては、表20-1～表20-8のように、「今後のために店に注意した (16.7%)」や「あきらめて店をかえた (13.3%)」、「だまって泣き寝入りした (12.7%)」などの消極的な態度をとっており、「店に話して代替品をもらった (5.3%)」や「事故品の相当額をもらった (4.7%)」、「店から見舞金をもらった (2.3%)」などの強い処置をとっている場合は少ない。

表20 事故に対する処置

表20-1 店に話して代替品をもらった

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	16	5.3	16	5.3
選ばなかった人	117	39.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表20-4 消費者センターなどの苦情相談窓口を利用した

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	1	0.3	1	0.3
選ばなかった人	132	44.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表20-2 事故品の相当額をもらった

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	14	4.7	14	4.7
選ばなかった人	119	39.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表20-5 今後のために店に注意した

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	50	16.7	50	16.7
選ばなかった人	83	27.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表20-3 店から見舞金をもらった

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	7	2.3	7	2.3
選ばなかった人	126	42.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表20-6 だまって泣き寝入りした

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	38	12.7	38	12.7
選ばなかった人	95	31.7	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

表20-7 あきらめて店をかえた

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	40	13.3	40	13.3
選ばなかった人	93	31.0	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表20-8 洗い直し又は修理してもらった

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	3	1.0	3	1.0
選ばなかった人	130	43.3	133	44.3
事故のなかった人	167	55.7	300	100.0

表20-9 責任所在件数

責任所在	60年度	61年度
顧客	422	522
繊維・アパレル・流通	201	231
クリーニング業者	207	205
シミ抜き処理者	3	2
なし	17	24
不明	40	37
計	890	1,021

責任所在なしとは各種性能試験だけのもの、事故が認められないもの、事故は認められても修正可能なものなどをさす。

消費者センターなどの苦情相談窓口を利用している人は、0.3%ときわめて少ないが、もっと消費者としての権利を主張すべきであろう。

ただし、表20-9（事故衣料品鑑定統計より）^(注12)に示すように、消費者（顧客）に責任のある場合も多いので、衣類の無雑作な着用や保管を行ってはならない。

「クリーニング事故（衣類）」と「事故に対する処置」を取り上げ、クロス集計をした結果を表19×20に示す。

表によれば、事故が「婦人外出着」の場合に、「今後のために店に注意した」10人（7.52%）や、「セーター、カーディガン」の場合に「だまって泣き寝入りした」10人（7.52%）が多く、次いで「セーター、カーディガン」の場合に「あきらめて店をかえた」9人（6.77%）である。

また、「クリーニング事故（衣類）」を軸にみれば、事故をおこした「婦人外出着」31件中10件は「店に注意」しており、6件（4.51%）が「泣き寝入り」したりしている。

「事故に対する処置」を軸にみれば、「店をかえた」40件中9件（6.77%）は「セーター、カーディガン」の場合であり、6件（4.51%）は「子供外出着（学生服を含む）」の場合であった。

この結果、衣料品の価格の高低に合わせて事故処理をしているように思われる。

これらのクロス集計では有意差はなく、関連性はみられなかった。

（注12）前掲統計

洗たくおよびクリーニングに関する研究 (第1報)

表19×20 クリーニング事故(衣類)×事故の処置

事故の処置	も代店に替 らつ品話を たをして	も相事 ら故額品 たをの	を店 もから ら見舞 つた金	消 費者 セ ン タ ！ な ど の 苦 情 相 談 ！ 窓 口 を 利 用 し た	店今 後の 注 意 た め に	寝だ ま り つ て 泣 き	店あ き ら め て	し又洗 は い 直 し ら つ た	T O T A L
クリーニング事故の衣類	0	2	0	0	4	0	2	0	8
カッターシャツ	0.00	1.50	0.00	0.00	3.01	0.00	1.50	0.00	6.02
	0.00	25.00	0.00	0.00	50.00	0.00	25.00	0.00	
	0.00	22.22	0.00	0.00	11.76	0.00	5.00	0.00	
背 広 上 下	1	0	0	0	2	0	1	1	5
	0.75	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.75	0.75	3.76
	20.00	0.00	0.00	0.00	40.00	0.00	20.00	20.00	
	8.33	0.00	0.00	0.00	5.88	0.00	2.50	33.33	
オーバーコート	0	1	0	1	1	2	4	0	9
	0.00	0.75	0.00	0.75	0.75	1.50	3.01	0.00	6.77
	0.00	11.11	0.00	11.11	11.11	22.22	44.44	0.00	
	0.00	11.11	0.00	100.00	2.94	6.67	10.00	0.00	
レインコート	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.75
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.33	0.00	0.00	
ネ ク タ イ	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.75
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00	
婦人外出着	4	3	2	0	10	6	4	2	31
	3.01	2.26	1.50	0.00	7.52	4.51	3.01	1.50	23.31
	12.90	9.68	6.45	0.00	32.26	19.35	12.90	6.45	
	33.33	33.33	50.00	0.00	29.41	20.00	10.00	66.67	
婦人家庭着	1	0	0	0	0	1	1	0	3
	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.75	0.00	2.26
	33.33	0.00	0.00	0.00	0.00	33.33	33.33	0.00	
	8.33	0.00	0.00	0.00	0.00	3.33	2.50	0.00	
和 服 類	0	0	0	0	1	1	1	0	3
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.75	0.75	0.00	2.26
	0.00	0.00	0.00	0.00	33.33	33.33	33.33	0.00	
	0.00	0.00	0.00	0.00	2.94	3.33	2.50	0.00	
子供外出着 (学生服を含む)	1	0	1	0	2	3	6	0	13
	0.75	0.00	0.75	0.00	1.50	2.26	4.51	0.00	9.77
	7.69	0.00	7.69	0.00	15.38	23.08	46.15	0.00	
	8.33	0.00	25.00	0.00	5.88	10.00	15.00	0.00	
毛 布	1	0	0	0	0	0	3	0	4
	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.26	0.00	3.01
	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	75.00	0.00	
	8.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.50	0.00	
皮 革 製 品	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.75
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00	

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

事故の処置	も代店 ら替に つ品話 たをして	も相事 ら当故 つ額品 たをの	を店 もら ら見 つた たの	窓消 口費 を者 利セ 用ン したク た	店今 後の 注の 意た しめ に	寝だ 入ま りつ てた たき	店あ き をか らめ たて	し又 は洗 は直 も修 ら理 った	T O T A L
クリーニング事故の衣類									
ズボン	1 0.75 20.00 8.33	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 20.00 2.94	0 0.00 0.00 0.00	3 2.26 60.00 7.50	0 0.00 0.00 0.00	5 3.76
スカート	1 0.75 5.26 8.33	2 1.50 10.53 22.22	1 0.75 5.26 25.00	0 0.00 0.00 0.00	6 4.51 31.58 17.65	6 4.51 31.58 20.00	3 2.26 15.79 7.50	0 0.00 0.00 0.00	19 14.29
セーター カーディガン	1 0.75 3.57 8.33	1 0.75 3.57 11.11	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	7 5.26 25.00 20.59	10 7.52 35.71 33.33	9 6.77 32.14 22.50	0 0.00 0.00 0.00	28 21.05
マフラー ショール	1 0.75 50.00 8.33	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	1 0.75 50.00 2.50	0 0.00 0.00 0.00	2 1.50
T O T A L	12 9.02	9 6.77	4 3.01	1 0.75	34 25.56	30 22.56	40 30.08	3 2.26	133 100.00

$$\chi^2 = 83.631 \quad df : 98 \quad n.s.$$

21. クリーニングに出す時の注意点 (Q21)

クリーニングに出す時の注意点について、調べた結果を表21-1～表21-10に示す。

クリーニングに出す時の注意として、「ポケットの中を調べてカラにする」が92.7%で、ほとんど全員が行っており、次いで、「衣料品を買うときは、洗たくできるかどうかを確かめる（表示等を見る）」53.3%、「上下対のもの、ベルト、その他の付属品は一緒に出す」38.0%、「ほつれや破れは修理しておく」33.3%、「しみの部分に白糸で糸じるしをする。更に、そのしみの種類やついた程度、家庭で行ったしみ抜きの方法を伝える」29.0%、「特殊なボタンや飾り物ははずす」27.0%となり、よく考えて衣料品をクリーニングに出している人が多く、賢い消費者といえよう。

表21 クリーニングに出す時の注意点

表21-1 ポケットの中を調べてカラにする

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
注意した人	278	92.7	278	92.7
注意しなかった人	22	7.3	300	100.0

表21-2 ほつれや破れは修理しておく

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
注意した人	100	33.3	100	33.3
注意しなかった人	200	66.7	300	100.0

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

表21-3 「しみ」の部分に白糸で糸じるしをする

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
注意した人	87	29.0	87	29.0
注意しなかった人	213	71.0	300	100.0

表21-4 特殊なボタンや飾り物ははずす

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
注意した人	81	27.0	81	27.0
注意しなかった人	219	73.0	300	100.0

表21-5 上下対のもの、ベルト、その他付属品は一緒に出す

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
注意した人	114	38.0	114	38.0
注意しなかった人	186	62.0	300	100.0

表21-6 衣料品にネームを入れておく

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
注意した人	9	3.0	9	3.0
注意しなかった人	291	97.0	300	100.0

表21-7 ベルトや付属品は伝票(預り証)に書き加えてもらう

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
注意した人	56	18.7	56	18.7
注意しなかった人	244	81.3	300	100.0

表21-8 衣料品を買うときは洗たくできるかどうかを確かめる(表示等を見る)

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
注意した人	160	53.3	160	53.3
注意しなかった人	140	46.7	300	100.0

表21-9 洗たく方法を指示しておく

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
注意した人	25	8.3	25	8.3
注意しなかった人	275	91.7	300	100.0

表21-10 何もしない

	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
選んだ人	1	0.3	1	0.3
選ばなかった人	299	99.7	300	100.0

IV おわりに

最近、クリーニング事故が多発しており、昭和62年度上半期中に国民生活センターによせられた、クリーニングに関する苦情相談は5773件という多さであった。

クリーニング事故の原因は、まず、衣服の素材にあると考えられる。

クリーニング業者でも洗たくできないような衣服の素材として、たとえば、現在、問題になっている「シワ加工」や「フロック加工」が施されたもの、また、ビーズや金属などが装飾的につけられたもの、多種繊維が混紡されたものなどがある。

したがって、クリーニング事故を防ぐには、第一に、衣服購入時に「洗たく」の事を考える必要がある。

本調査においては、「クリーニングできない衣料品があること」を71.04%の人が知っており、また、「衣料品購入時には、洗たくできるかどうか」を考える人も74.7%と多く、賢明で、洗たくに対する関心度も高かった。

しかしながら、「家庭洗たく」においては、65.0%の人が衣類の取り扱いに失敗している。

「家庭洗たく」では、クロス分析の結果、「綿を漂白したり、洗たく機で洗った場合」や「ウール（毛）を手洗いや洗たく機で洗った場合」に失敗が多くなっていることが調査結果より認められた。

また、クリーニングに対しても、衣服をクリーニングに出す時には、よく注意して、賢明な態度で臨んでいるとはいえ、クリーニング事故も44.7%が経験している。

クリーニング事故としては、クロス分析の結果、「ウール（毛）では、収縮や付属品の紛失・破損、しみの付着」が多く、「綿では、色落ち、変色」が主なものであることが、調査結果より明らかになった。

これらの結果から、「家庭洗たく」と「クリーニング事故」の両者において、衣類の取扱いの失敗やクリーニング事故をおこしやすいのは、天然繊維のウール（毛）や綿の衣類であることが明らかとなった。

本調査研究を基礎として、「家庭洗たく」での衣類の取り扱いの失敗や「クリーニング事故」について、詳細な調査研究を続行する予定である。

謝 辞

本研究にあたり、機会を与えていただきました福井秀加学長に深謝いたします。

また、懇切なご助言を賜りました京都大学大型計算機センターの高井孝之氏に厚く御礼申し上げます。

調査実施に際し御協力いただきました大手前女子短期大学学生ならびに御家族のかたがたに謝意を表します。

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

調 査 票

衣料研究室では、クリーニング全般についての調査を行っていますので、お手数ですが、ご協力をお願いします。ご家族の中で主に洗たくをされる方に、おたずねします。

次の質問について、あてはまる番号に○をつけて下さい。

- Q 1 あなたは次のどれにあてはまりますか。
 ①専業主婦 ②内職 ③パートタイム ④フルタイム常勤 ⑤学生（自宅通学） ⑥学生（下宿）
- Q 2 あなたの年齢は
 ①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳以上
- Q 3 あなたの家族数は
 ①1人 ②2人 ③3人 ④4人 ⑤5人 ⑥6人以上（人）
- Q 4 あなたは 洗たくが好きですか
 ①好き ②どちらかといえば好き ③どちらかといえば嫌い ④嫌い
- Q 5 あなたは次のものをもっていらっしゃるでしょうか。おもちのものにすべて○をつけて下さい
 ①全自動洗濯機 ②半自動二槽式洗濯機（洗い～すすぎが自動） ③二槽式洗濯機 ④乾燥機
 ⑤ズボンプレスサー ⑥アイロン
- Q 6 あなたは一週間にどれくらいの割合で、洗たくをなさいますか
 ①ほぼ毎日 ②ほぼ2～3回 ③ほぼ1回 ④わからない
- Q 7 あなたは家庭での洗たくや漂白やアイロン掛けなどで、衣類の取扱いに失敗したことがありますか
 ①ある ②ない
- Q 8 Q 7で①あると答えられた方に、おたずねします。それはどのような失敗でしたか。次の④ ⑤ ⑥についてあてはまる番号にいくつでも○をつけて下さい。
 ④衣類の取扱いでは、どういう場合でしたか
 ①洗濯機で洗ったとき ②漂白したとき ③アイロン掛けのとき ④手洗いのとき ⑤干しているとき
- ⑥失敗をおこした衣類の素材（繊維）は何でしたか
 ①綿 ②ウール ③絹 ④麻 ⑤レーヨン ⑥アセテート ⑦ポリエステル ⑧ナイロン ⑨アクリル ⑩混紡もの ⑪その他（ ） ⑫わからない
- ⑥失敗の中身は、どんなものでしたか
 ①収縮 ②伸びた ③色が落ちた ④色が移った ⑤変色した ⑥型がくずれた ⑦ほつれた ⑧毛玉ができた ⑨硬くなった ⑩アイロン跡がついた ⑪光沢やつやがなくなった ⑫その他（ ）
- Q 9 あなたが現在使っている洗剤はどれですか
 ①せっけん（粉末、固形、液体） ②合成洗剤（粉末、液体） ③バイオ技術から生まれたくすブーン一杯の新型洗剤
- Q 10 Q 9で③の新型洗剤を使っている方とその理由を次の中から選んで下さい
 ①持ち運びが簡単 ②保管場所が狭くてすむ ③宣伝を見て ④汚れがよく落ちると思うから ⑤時代感覚にあっている（流行している） ⑥なんとなく ⑦もらったから
- Q 11 あなたは衣料品をお買いになるとき、家で洗えるか、クリーニング店に出さなければならないかをお考えになりますか
 ①考える ②考えない

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

- Q12 あなたは衣類をクリーニング店に出す場合、購入時の値段によって利用する店を変えますか
①変える ②変えない
- Q13 最近はファッションナブルな衣類が多く異質な素材の組み合わせや、新しい加工、デザインなどによってはクリーニングできないようなものがあることをご存じですか
①知っている ②知らない
- Q14 あなたはクリーニングをどうしていらっしゃいますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで○をつけて下さい
- | | 家で全部
する | 品物により
クリーニング
に出す | 全部クリー
ニングに出
す | わからない | その他 |
|------------------------|------------|------------------------|---------------------|-------|-----|
| (1)カッターシャツの場合 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (2)ブラウス（綿）の場合 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (3)ブラウス
（化学繊維）の場合 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (4)セーターカーディガンの
場合 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (5)外出着（スリーシーズン）
の場合 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
- Q15 最もよく利用されているクリーニング店についてその店を利用されている理由をあげて下さい
あてはまるものをいくつでも選んで○をつけて下さい。
①仕上りがよいので ②出来上り日が確実なので ③安心できる店なので ④近くにあるので
⑤日曜・祭日も営業しているの ⑥遅くまで営業しているの ⑦集配達してくれるから ⑧
仕上り（出来上り）が早いので ⑨料金が安いから
- Q16 クリーニング店に出して、今までに事故がありましたか
①ある ②ない
- Q17 Q16で①あると答えられた方におたずねします。それはどのような事故でしたか。あてはまるものにいくつでも○をつけて下さい。
①紛失や品物のまちがい ②付属品（ボタン、ベルトなど）の紛失、破損 ③破損 ④色落ち
又は変色 ⑤色が移った ⑥こげ ⑦しみ ⑧のびた ⑨収縮 ⑩生地がゴワゴワした ⑪プ
リーツが消えた ⑫アイロンの後かたがきえない ⑬裏のコーティングがポロポロになりはが
れた ⑭模様が部分的にはがれた ⑮その他（ ）
- Q18 それらの事故をおこした衣類の素材（繊維）は何でしたか
①綿 ②ウール ③絹 ④麻 ⑤レーヨン ⑥アセテート ⑦ポリエステル ⑧ナイロン ⑨
アクリル ⑩混紡もの ⑪皮革 ⑫わからない
- Q19 それらの事故をおこした衣類は何でしたか、あてはまるものにいくつでも○をつけて下さい
①カッターシャツ ②背広上下 ③オーバーコート ④レインコート ⑤ネクタイ ⑥婦人外
出着 ⑦婦人家庭着 ⑧和服類 ⑨子供外出着（学生服を含む） ⑩毛布 ⑪皮革製品 ⑫ズ
ボン ⑬スカート ⑭セーター、カーディガン ⑮マフラー、ショール
- Q20 それらの事故に対し、あなたはどのような処置をしましたか。あてはまるものにいくつでも○
をつけて下さい。
①店に話して代替品をもらった ②事故品の相当額をもらった ③店から見舞金をもらった ④
消費者センターなどの苦情相談窓口を利用した ⑤今後のために店に注意した ⑥だまって泣
き寝入りした ⑦あきらめて店をかえた ⑧洗い直し又は修理してもらった
- Q21 あなたはクリーニング事故を防ぐために、次のようなことを注意していますか。注意している
ものをいくつでも選んで○をつけて下さい。

洗たくおよびクリーニングに関する研究（第1報）

- ①ポケットの中を調べてカラにする
- ②ほつれや破れは修理しておく
- ③「しみ」の部分に白糸で糸じるしをする。更にそのしみの種類やついた程度，家庭で行ったしみ抜きの方法を伝える。
- ④特殊なボタンや飾り物ははずす
- ⑤上下対のもの，ベルト，その他，付属品は一緒に出す
- ⑥衣料品にネームを入れておく
- ⑦ベルトや付属品は伝票（預り証）に書き加えてもらう
- ⑧衣料品を買うときは，洗たくできるかどうかを確かめる（表示等を見る）
- ⑨洗たく方法を指示しておく
- ⑩何もしない

ご協力ありがとうございました